

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 年 月 日

事業所名： ぽっぽ白鳩

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。  
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	14	3	1		55	1		1		適切で十分なスペースがある施設だが、更に有効活用できるように工夫する。
	2 職員の適切な配置	12	4	2	・利用者数の変化に対応し、配置人数を決定している。	52	1		4		
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	15	3			54			3		教室にマットを敷いたりバリアフリーにしたりするなど、子どもの特性を考え安全かつ動きやすいように設備整備を行っている。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	16	2		・床下に備長炭を敷き、マイナスイオンを発生させ子どもたちの心の安定を図っている。	56			1		
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	14	4		・改善時はPDCAサイクルを意識し、プランの段階で職員の意思や考えを反映するように努め、実行の後は評価改善を行っている。						
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	4	13	1							今後検討したい。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	15	3		・外部講師を招いての研修を実施し、職員の資質の向上を図っている。						研修内容が偏らない様に多岐にわたる内容の研修を計画実施し、職員の資質の向上を図っていきたい。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	16	2		・職員同士で話し合い、作成している。	54	2		1	・保護者との話し合いが他事業所よりしっかり行われていて素晴らしい。 ・子どもの分析がきちんとされていないと正しい方向へ導けないので難しい問題だと思う。	保護者や子どものニーズを的確に把握し、療育に生かせるよう保護者に働きかけたり、毎日のノートに記されている事柄を的確に捉えたりして療育に生かしている。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	17	1			55	1		1		
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	17	1		・言語療育では、個別、集団とプログラムして取り組んでいる。						



区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見
関係機関との連携（続き）	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	14	4			/	/	/	/	小学校や幼稚園、保育所等との情報共有を更に図ると共に、保育所等訪問を充実させたい。	
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	10	8			/	/	/	/		
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	13	5			/	/	/	/		
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	17	1		・コロナ禍で機会は減少傾向ではあるが保育園・児童クラブ・児童館との交流を計画し、いろいろな人との関わりを経験し刺激を受ける事で成長に繋げている。	52	1		4	・定期的に連携保育所と交流がある。児童クラブとの交流もあると良い。	児童館や提携保育園との交流を積極的に計画したり、隣接する児童クラブとは体験活動等を一緒に実施するなどして、色々な人や児童との関わりを重視している。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	9	8	1	・コロナ禍の為、秋祭りなども縮小して行った。	/	/	/	/		他の事業所や利用者への理解を深め、開かれた事業所として地域を巻き込んだ行事を計画していきたい。
	9 事業所の運営	10	7	3		/	/	/	/		
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	15	3			52	3		2		契約時やモニタリング等、保護者と話すことのできる機会を大切にし、支援の内容等について丁寧に説明していく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	16	2			55	1		1		
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	7	10	1		38	5	2	12		コロナの状況を踏まえながら、ペアレント・トレーニング等を計画していきたい。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	17	1		・送迎の時など、機会ある度に子どもの状況を保護者に伝え合い、同じ歩調で療育にあたっている。	57				・いつもあゆみノートで情報交換等させてもらっています。 ・子どものことだけでなく学校への対応など相談にのってもらい安心している。	送迎時やあゆみノート等、機会あるごとに、保護者のニーズにしっかり応えられるよう、情報収集を行うと共に共通理解を図っている。
	5	17	1			53	3		1		「保護者に寄り添い、一緒に療育する」という考えの下、一人の悩みを職員みんなで考え、適切な支援や助言ができるようにしている。
	6	8	8	2	・毎月、園行事や今月のねらいを記載した「ぽっぽ便り」を発行し活動内容などの周知に努める。	21	12	5	19		3月には懇談会を予定計画し、「精神発達状況」をもとに保護者との連携を図っている。保護者の願いを真摯に受け止め、迅速に情報を共有し解決できるよう、体制の強化を図る。
	7	15	3			41	2		14		
	8	17	1		・漢字が読みにくい保護者には、ルビを振っている。	53	2		2		
	9	17	1			52	3		2	・また参観日等ありますと、様子がよくわかるかなと思います。	・入所式、巣立ち式、懇談会等で子どもの様子を見ていただく機会を設けている。 ・今後、参観日も検討したい。
10	17	1			52		1	4	・来客者名簿に個人情報を入力する際、他の方の情報が見れるため不安になります。	来客者名簿は、ノートに記入する従来の方式をやめ、カード型に変更して個人情報保護に努める。	
非常時等の対応	1	15	3			39	5	1	12		マニュアルを作成し、口頭や研修で分かりやすく説明し、全職員への周知徹底を図る。
	2	16	2		・防火訓練などの研修、細かな役割、分担を行って訓練を実施し実際に生かせるようにしている。	44	5		8		洪水等様々な災害にも対処、対応できるように体制を整えておく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見
非常時等の 対応（続き）	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	17	1		・虐待防止のための指針やマニュアルをもとに研修を実施した。						・虐待防止の研修を行い、虐待防止委員会の意義等、周知を図って虐待を絶対にしない体制づくりに努める。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	11	7		・身体拘束についての研修会を実施し、対策検討委員会を立ち上げた。						
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	17	1		・毎朝のミーティングにおける給食の説明により、食物アレルギーの有無に対し、必ず全品確認している。						
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	16	2		・事業所内でのヒヤリハット報告書を作成し、職員間で回覧し情報を共有し再発防止に努める。						事案発生時に限らず常に「安全」を心がけ、点検を怠らないようにする。